

東京大学は自らの行動によって、持続可能な社会の実現に向けた道筋を作りたいと考え「東大サステナブルキャンパスプロジェクト(TSCP)」を全学プロジェクトとして立ち上げています。活動の一環として、大学が保有する演習林での間伐推進プロジェクトを進めています。

削減対象	東京大学自身のCO2排出量
実施期間	2012年 自主目標に活用予定
削減努力	間伐推進によるCO2吸収量の増大
削減量	3,193 t-CO2
クレジットの種類及びプロジェクト名称	オフセット・クレジット(J-VER) 間伐促進型プロジェクト
無効化日	2013年 5月 日(予定)

東京大学演習林は、森林・林業の実践的研究・教育の場として全国7ヶ所に合計約32,000haの地方演習林を擁している他、森林生態圏管理学協力大講座として大学院学生の指導・教育にもあたっています。

全演習林のうち要件を満たす5演習林で、間伐促進型プロジェクトを先導的に進めることで、同様の演習林を保有する国立大学への波及効果を含め、制度全般の普及・拡大に繋がりたいと考えています。

昨年度千葉演習林での取り組みをパイロットプロジェクトとして申請し、大学演習林として初めて登録されました。今年度は残りの演習林のプロジェクト化を進めています。



■担当者連絡先

(迫田一昭 03-5841-0500 sakoda.kazuaki@mail.u-tokyo.ac.jp)